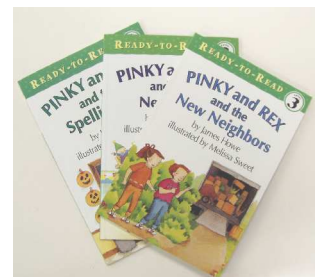


多読クラブの皆様へ

新規追加書籍のご案内（2006年9月）

先月入荷した Pinky and Rex シリーズに3冊追加です。

- Pinky and Rex and the New Neighbors Y.L.:1.4 総語数 2500
- Pinky and Rex and the New Baby Y.L.:1.8 総語数 2500
- Pinky and Rex and the Spelling Bee Y.L.:1.8 総語数 2500



Adam Sharp シリーズで5冊。007 のこども版です。いつもタキシード姿で寝ぼけまなこの Adam Sharp は8歳の小学生。彼は普通の小学生ではなく、アメリカの情報機関 IM-8 の秘密諜報部員。つまり、スパイ。しかも、敏腕のスパイ。。。語数は少ないのですが、スパイ物の雰囲気を出すために少しだけ堅苦しい馴染みのない単語が混ざってあるようです。

- Adam Sharp, the Spy Who Barked Y.L.:2.3 総語数 2800

学校での休み時間、Adam Sharp はお弁当箱が盗まれている事に気づきます。実はこのお弁当箱、普通の弁当箱ではないんです。最高機密コンピューター・プログラム” DOGBARK” が入っていたから、さあ大変！ Adam Sharp は DOGBARK を追ってオランダへ…。以下、他に4冊。

- Adam Sharp, Swimming With Sharks Y.L.:2.3 総語数 2800
- Adam Sharp, Operation Spy School Y.L.:2.3 総語数 2800
- Adam Sharp, Moose Master Y.L.:2.3 総語数 2800
- Adam Sharp, Code Word Kangaroo Y.L.:2.4 総語数 3200



先月 Cam Jansen シリーズの No.1~12 までが入りました。そして今回は No.13~24 で、これで全巻そろいました。

- Triceratops Pops Mystery Y.L.:2.5 総語数 5000
- The Mystery at the Haunted Y.L.:2.5 総語数 5400
- The Chocolate Fudge Mystery Y.L.:2.5 総語数 5500
- The Ghostly Mystery Y.L.:2.5 総語数 5300
- The Scary Snake Mystery Y.L.:2.5 総語数 5300
- The Catnapping Mystery Y.L.:2.5 総語数 5200
- The Tennis Trophy Mystery Y.L.:2.5 総語数 4900
- The Barking Treasure Mystery Y.L.:2.5 総語数 4900
- The First Day Of School Mystery Y.L.:2.5 総語数 4100
- The Birthday Mystery Y.L.:2.5 総語数 5300
- The School Play Mystery Y.L.:2.5 総語数 4800
- The Snowy Day Mystery Y.L.:2.5 総語数 5200



- The Mystery on the Ice (Boxcar Children Special) Y.L.:4.0 総語数 14600

The Boxcar Children のミステリシリーズ第1巻。スケートショーが街にやって来ます。祖父と一緒に出ていたパーティーで四人の兄弟達もショーのスケーター達と仲良くなります。ところが、そのパーティー会場で Mrs.Murray の宝石が盗まれてしまいました。兄弟で、宝石泥棒を捕まえようと調べ始めます。さて、犯人を見つけることができるでしょうか？



●「多聴・多読マガジン」が9月6日に創刊されました。

3ヶ月に一度の季刊雑誌で、創刊号には、

「100万語多読&100時間シャドーイングのすすめ」(酒井邦秀)

「多聴多読のためのロードマップ」(伊藤晶子)

「快読快聴ライブラリ」GR、LRから5冊の本の紹介(録音付)(伊藤晶子)

「多読的読書ガイド」(古川昭夫・佐藤まりあ・トミナガ・アヤコ)

と、有名タドキストのみなさんが執筆しています。そのほか、「リスニング、シャドーイングのためのなま素材」「新 TOEIC 撃破ストラテジー」「新旧ベストセラー作品を楽しく読む」「世界の教科書を読む」等の記事があります。CD(73分)付き。



English Zone Vol.23 Y.L. 3.5 総語数:28000

日本人英語学習者向けの英文雑誌です。結構難しい記事も含まれていますが、日本の有名人とのインタビュー記事なども多く、すでに背景のわかっている内容については、とばし読みで理解できるでしょう。無理に全部読もうとせずに、興味のあるものだけ拾い読みするのをお勧めします。読上げCD付き。ネット上で全記事の日本語訳が公開されていますので、意味を調べたい時は便利。



●えほんで楽しむ英語の世界(日本語)

アメリカに住み図書館で働く著者が、ヒスパニック系の英語を話せない子供たちに、どう英語の絵本を楽しませるかを実体験に基づいて書いています。日本の子供たちにもそのまま応用できそうです。子供たちが好きな絵本、良い本が紹介されていて、それをどの様に読んであげ、興味をもたせるか、指遊びや、ゲームなども紹介されています。ご自分のお子様やお孫さんに読み聞かせをされている方にお勧めです。



●映画の英語がわかる本(日本語)

数ある英語習得法ハウツー本の一つです。タイトルからは想像がつかないのですが、SSS式多読法の考えに近いことがたくさん書かれています。「英語の本を読まない人に映画の英語がわかるようにはならない」と著者は断言。多読でなぜリスニング力がアップするのか?多読ではなぜ辞書を引くべきでないのか?が実例とともに詳しく解説されています。「1日最低3時間、1年間は毎日休みなし」とか、厳しいこともたくさん書かれています。最後まで読めば、けっこうモチベーションが上がるかも。本気で英語力をつけたいかたには特にお勧め。



追加書籍の選定は、会員さんからのリクエストやご意見を参考に行っています。10~12月は Zack Files の未入荷分(No.16-30)、ジブリ系のマンガ本を数冊、Ready-to-Read のY L 1.5 以下のもの、ロングマンの子供向けノンフィクションもの(CD付き)などを予定しています。ご意見、ご要望はヘンミまでお寄せください。

10月から12月の3ヶ月が多読クラブの4期目になります。9月末日までに翌3か月分の会費の納入をよろしくお願いいたします。9月末で退会、休会される方は9月25日までにご連絡いただき、月末までに貸し出し図書の返却をお願いいたします。

編集後記：児童書にはときどき省略語や発音綴り語が出てきます。辞書にも載っていませんので代表的なものをいくつか提示しておきます。 'n = and 'cos = because 'em = them ol' = old lotta = lot of woulda = would have wanna = want to gonna = going to などなど・・・